

ひげた としあき
氏名：樋下田 稔昭

役職：リハビリ科部長

(常勤嘱託医師)

前任地：医療法人明聖会 庄内病院

ひと言：肩書きはリハビリテーション科ですが、今まで脳神経外科や救急などをやってきました。脳神経外科では若い時は主に脊髄外科をやりました。首でも腰でも背骨に関することでしたら何でも診させていただきます。ここ数年は脳卒中をはじめとする脳神経一般、その予防あるいは慢性期治療まで幅広くやらせていただきました。高齢ながら好奇心は人一倍ありますので、体の許す限り何でもやらせていただきたいと思います。

よろしくお願いします。



の10月着任医師
御紹介！

病院だよ
新城市民病院

第35号

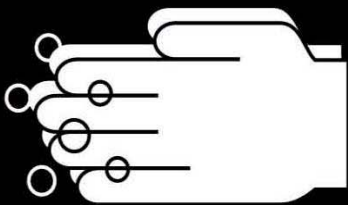
新城市民病院広報委員会

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

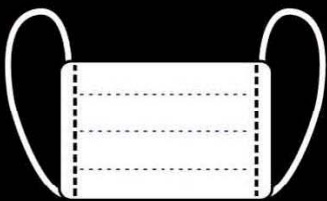
Fax 0536-22-2850 (総務課)

新型インフルエンザの感染拡大は 一人ひとりが防ぐ！



感染を予防するために

こまめな手洗い・うがいを徹底しましょう



感染をひろげないために

咳エチケットを守ってください

※咳エチケットとは：人に向かって咳やくしゃみをしないこと。とっさのくしゃみでは周囲の人から顔をそらし、用意があればティッシュなどで口・鼻をおおいます。咳などが出づけるときはマスクの着用を。



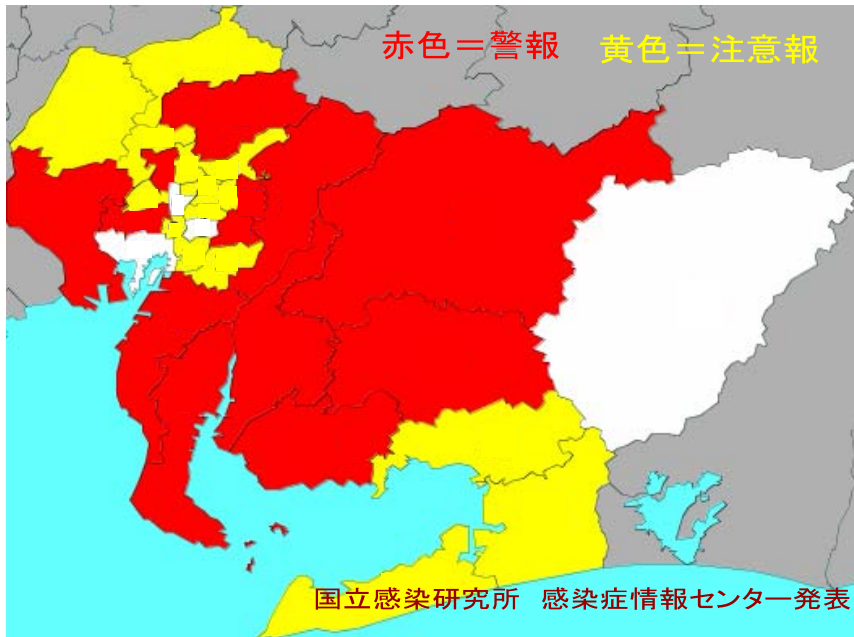
感染をひろげないために

かかったあとは外出自粛を
してください

厚生労働省：新型インフルエンザ感染拡大予防ポスターより

インフルエンザ警報・注意報の発令状況

10月12日～10月18日



新型インフルエンザが疑われる患者さんが多くなってきました。市内の小・中学校、高校などでも集団かぜによる学級閉鎖や学年閉鎖が現れています。

国立感染症研究所の発表によると、例年よりも早く流行が始まり、県内でも多くの市町村でインフルエンザ警報・注意報が発令されています。

必要な外出はできる限り避け、外出の際にはマスクや手洗い、うがいをしっかりとすることが大切です。

早期受診と 事前電話連絡のお願い

持病のある方の中には、治療の経過や管理の状況により、インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方がいます。

- ・慢性呼吸器疾患（ぜんそくなど）
- ・慢性心疾患
- ・糖尿病などの代謝性疾患
- ・腎機能障害
- ・ステロイド内服などによる免疫機能不全
- ・妊婦
- ・乳幼児
- ・高齢者

以上の方は特に予防を心がけ、症状が出たら早期に受診してください。

あなたや御家族の方で次のような症状がある方は、**必ず事前に電話してから医療機関を受診**しましょう。

- ・突然の38℃以上の発熱
 - ・38℃以上の発熱と咳、のどの痛み
 - ・38℃以上の発熱と嘔吐、下痢
- ※ 他に明らかな発熱の原因がある場合を除く

最近の出前・健康講座

この時期はイベントが市内各地で開催されるので、市民病院からは救護班や「まちの保健室」として参加させていただくことが多くなっています。

少しでも多くの方に市民病院の現状などを理解していただくよう、これからも各種イベントへ積極的に参加してまいります。

また、通常の「出前・健康講座」も随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。



出前講座のお問い合わせは 0536-23-7852 伊東、篠宮まで